

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 はごろもフーズ株式会社

コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本 信明

TEL 054-354-5000

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	21,254	1.3	809	225.9	1,205	91.8	693	79.2
21年3月期第1四半期	20,992	—	248	—	628	—	386	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	33.77	—
21年3月期第1四半期	18.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	45,234	21,104	46.7	1,028.21
21年3月期	43,246	20,148	46.6	981.61

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 21,104百万円 21年3月期 20,148百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	42,500	2.4	1,000	419.4	1,600	90.4	1,000	136.2	48.72
通期	82,400	2.5	1,200	456.4	2,300	60.2	1,500	162.9	73.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 20,650,731株 21年3月期 20,650,731株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 125,427株 21年3月期 125,114株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 20,525,463株 21年3月期第1四半期 20,528,574株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想については、平成21年5月13日に発表した予想を修正しています。本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、消費者の生活防衛意識や低価格志向がますます高まるなど厳しい販売状況が続くなか、「キッチンと！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を実施し需要の喚起に努めました。さらに、重点製品およびブランド力の強化のため販売費を増加させたことにより、売上高は212億54百万円(前年同期比1.3%増)となりました。また、主原料のきはだ鮪・デュラム小麦粉の価格が前年同期を下回ったことから、売上総利益率は大幅に改善されました。

これにより営業利益は8億9百万円(同225.9%増)となりました。(株)マルアイ他の株式取得にともなう負ののれん償却額1億25百万円を営業外収益に計上し、経常利益は12億5百万円(同91.8%増)、四半期純利益は6億93百万円(同79.2%増)となりました。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高(連結)

(単位：千円、%)

製品群	期別	前年同期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	9,310,058	44.3	9,292,130	43.7	17,927	0.2
		デザート	1,273,760	6.1	1,404,726	6.6	130,965	10.3
		パスタ&ソース	2,112,268	10.1	2,264,973	10.7	152,705	7.2
		総菜	1,619,977	7.7	1,706,532	8.0	86,555	5.3
		花かつお・海苔・ふりかけ類	1,744,224	8.3	1,835,195	8.6	90,971	5.2
		ギフトセット・その他食品	1,205,921	5.7	1,235,487	5.8	29,566	2.5
		計	17,266,209	82.2	17,739,046	83.4	472,836	2.7
	業務用食品	2,847,687	13.6	2,689,298	12.7	158,389	5.6	
	ペットフード・バイオ他	655,850	3.1	672,219	3.2	16,369	2.5	
	計	20,769,748	98.9	21,100,564	99.3	330,816	1.6	
その他	不動産賃貸他	222,365	1.1	154,234	0.7	68,130	30.6	
合計		20,992,113	100.0	21,254,799	100.0	262,685	1.3	

(注) 上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、全品100kcal以下にし、シリーズを強化したかつお製品の「シーチキンPLUS」シリーズに加え、主力のきはだ鮪製品が順調に推移しましたが、びんなが鮪製品の販売が減少し、当製品群の売上高は前年同期比0.2%減少しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズが好調に推移し、当製品群の売上高は前年同期比10.3%増加しました。「パスタ&ソース」では、「結束」タイプのスパゲッティが好調に推移し、当製品群の売上高は同7.2%増加しました。「総菜」では、「シャキッとコーン」が好調に推移したことにより、当製品群の売上高は同5.3%増加しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパックやふりかけ類が消費者の米飯回帰・肉食回帰の動きに合って販売が増加し、当製品群の売上高は同5.2%増加しました。「ギフトセット・その他食品」では、ギフトセットの販売が順調に推移し、当製品群の売上高は同2.5%増加しました。「業務用食品」では、CVSや外食などの大手ユーザーにおける単位当たり使用量の減少が引き続き影響し、当製品群の売上高は同5.6%減少しました。「ペットフード・バイオ他」では、ペットフードの猫の年齢に対応した「11歳からのねこまんま」シリーズの販売が順調に推移し、当製品群の売上高は同2.5%増加しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の内容

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より19億88百万円増加して、452億34百万円となりました。これは、主に現金及び預金が2億14百万円減少したものの、売掛債権が15億11百万円増加したこと、たな卸資産が1億23百万円増加したことに加え、株式市況の上昇により投資有価証券が7億61百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より10億32百万円増加して、241億30百万円となりました。これは、主に短期借入金が7億円減少したことや未払金が9億23百万円減少したものの、買掛債務が10億7百万円増加したこと、販売促進引当金が12億54百万円増加したこと、繰延税金負債が2億70百万円増加したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より9億56百万円増加して、211億4百万円となりました。これは、主に利益剰余金が5億39百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が4億40百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から46.7%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億14百万円減少し、10億61百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動により増加した資金は8億9百万円となりました。これは主に売上債権の増加や未払金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益やその他の引当金、仕入債務が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動により減少した資金は1億16百万円となりました。これは主に固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の財務活動により減少した資金は9億7百万円となりました。これは主に短期借入金の返済によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績予想については、平成21年5月13日の公表から修正しています。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,061,212	1,275,993
受取手形及び売掛金	15,460,549	13,948,575
商品及び製品	5,668,093	5,927,940
仕掛品	221,078	236,620
原材料及び貯蔵品	3,639,152	3,240,054
その他	1,867,317	1,991,163
貸倒引当金	26,790	21,576
流動資産合計	27,890,614	26,598,771
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,937,784	4,937,784
その他(純額)	5,475,264	5,509,737
有形固定資産合計	10,413,049	10,447,522
無形固定資産		
	334,072	348,981
投資その他の資産		
投資有価証券	6,256,987	5,495,159
その他	357,019	374,494
貸倒引当金	17,270	18,670
投資その他の資産合計	6,596,736	5,850,983
固定資産合計	17,343,858	16,647,487
資産合計	45,234,472	43,246,259
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,426,829	13,418,906
短期借入金	981,660	1,681,660
未払金	2,820,231	3,743,677
未払法人税等	450,375	505,406
売上割戻引当金	147,313	61,543
販売促進引当金	1,311,594	57,365
賞与引当金	499,618	412,484
その他の引当金	-	37,500
その他	701,734	521,968
流動負債合計	21,339,358	20,440,513
固定負債		
長期借入金	45,850	86,680
退職給付引当金	416,556	389,097
役員退職慰労引当金	516,452	505,496
負ののれん	377,713	503,618
その他	1,434,142	1,172,663
固定負債合計	2,790,715	2,657,555
負債合計	24,130,073	23,098,069

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	17,212,897	16,673,757
自己株式	124,182	123,872
株主資本合計	19,472,896	18,934,067
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,119,245	1,678,357
繰延ヘッジ損益	3,600	34,816
為替換算調整勘定	484,142	499,051
評価・換算差額等合計	1,631,502	1,214,122
純資産合計	21,104,398	20,148,190
負債純資産合計	45,234,472	43,246,259

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	20,992,113	21,254,799
売上原価	14,466,469	13,590,434
売上総利益	6,525,643	7,664,365
販売費及び一般管理費	6,277,204	6,854,603
営業利益	248,438	809,761
営業外収益		
受取利息	275	221
受取配当金	80,840	69,441
負ののれん償却額	125,904	125,904
持分法による投資利益	-	28,130
受取手数料	105,837	125,859
その他	112,228	65,258
営業外収益合計	425,087	414,815
営業外費用		
支払利息	7,874	4,386
売上債権売却損	-	4,782
持分法による投資損失	12,854	-
賃貸収入原価	-	5,662
その他	24,380	4,197
営業外費用合計	45,109	19,028
経常利益	628,416	1,205,548
特別利益		
貸倒引当金戻入額	57	1,417
固定資産売却益	-	749
特別利益合計	57	2,167
特別損失		
固定資産除却損	36,816	5,992
特別損失合計	36,816	5,992
税金等調整前四半期純利益	591,657	1,201,723
法人税等	204,925	508,642
四半期純利益	386,732	693,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	591,657	1,201,723
減価償却費	191,351	205,133
負ののれん償却額	125,904	125,904
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,040	3,814
その他の引当金の増減額(は減少)	1,265,637	1,428,047
受取利息及び受取配当金	81,116	69,662
支払利息	7,874	4,386
為替差損益(は益)	56	129
持分法による投資損益(は益)	12,854	28,130
売上債権の増減額(は増加)	1,530,650	1,511,974
たな卸資産の増減額(は増加)	144,140	124,855
仕入債務の増減額(は減少)	1,705,702	1,007,922
未払金の増減額(は減少)	1,027,790	940,080
その他	128,705	257,340
小計	1,278,366	1,307,633
利息及び配当金の受取額	79,289	68,682
利息の支払額	7,195	4,404
法人税等の支払額	119,824	562,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,230,635	809,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	47,446	100,750
投資有価証券の取得による支出	5,974	6,166
貸付けによる支出	850	1,000
貸付金の回収による収入	1,282	6,625
その他	29,085	15,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	82,073	116,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,000,000	700,000
長期借入金の返済による支出	40,830	40,830
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	12,698
自己株式の取得による支出	1,055	310
配当金の支払額	153,967	153,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195,852	907,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	98
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	47,229	214,781
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,162	1,275,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,499,933	1,061,212

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年3月期 第1四半期決算短信(連結)補足説明

1. 売上高・利益の増減要因等

(単位:百万円,%)

	前年同期	当第1四半期	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 20,992	100.0 21,254	262	101.3	販売函数 +3.5% 製品群別売上高 ・パスタ&ソース +7.2% +152百万円 ・デザート +10.3 +130 ・花かつお・海苔・ふりかけ類 +5.2 +90 ・総菜 +5.3 +86 ・業務用食品 5.6 158 ・ツナ 0.2 17
売上原価	68.9 14,466	63.9 13,590	876	93.9	・売上原価率:原材料価格の低下により 5.0ポイント
売上総利益	31.1 6,525	36.1 7,664	1,138	117.4	
販売費及び一般管理費	29.9 6,277	32.3 6,854	577	109.2	・販売奨励金 +11.6% +438百万円 ・広告宣伝費 +42.4 +134 ・一般管理費 0.5 7
営業利益	1.2 248	3.8 809	561	325.9	
営業外損益	1.8 379	1.9 395	15	104.2	(収益) その他営業外収益 41.9% 46百万円 持分法による投資利益 28 受取手数料 +18.9 +20 (費用) その他営業外費用 82.8 20 前期は持分法による投資損失 12
経常利益	3.0 628	5.7 1,205	577	191.8	
特別損益	0.2 -36	0.0 -3	32	10.4	(損失) 固定資産除却損 83.7% 30百万円
税金等調整前四半期純利益	2.8 591	5.7 1,201	610	203.1	
法人税等	1.0 204	2.4 508	303	248.2	
四半期純利益	1.8 386	3.3 693	306	179.2	

設備投資額	46	161	115	351.5	無形固定資産含む
減価償却費	191	205	13	107.2	無形固定資産分含む

ご参考

(単位:円/kg,%)

きはだ鮪価格	603.0	572.3	30.7	94.9	出所:農林水産省「産地水産物流通統計」 各冷凍品の4~6月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した)
かつお価格	211.9	156.5	55.4	73.9	

2. 販売費及び一般管理費の内訳

(百万円、%)

	前年同期	当第1四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金(引当金繰入額含む)	3,764	4,203	438	111.6
広告宣伝費	318	453	134	142.4
荷造運賃	576	582	5	101.0
保管料	166	172	5	103.5
役員報酬	90	82	8	91.0
給料及び手当	456	455	1	99.6
賞与引当金繰入額	125	125	0	99.8
退職給付費用	42	53	10	124.9
旅費及び交通費	78	75	2	96.3
減価償却費	55	74	18	133.9
賃借料	124	122	2	98.0
研究開発費	62	55	7	88.3
その他	413	399	14	96.5
合計	6,277	6,854	577	109.2